

一般質問

- ・農業振興への対策について
- ・若者のスポーツ施設について



村田明彦

問

農業は本市の基幹産業との認識の中で、どのような対策を講じているのか。また、その進捗状況を伺う

答

今後ますます農業者の減少が深刻化する中で、農業の担い手への支援継続や農地の集約、大区画化、大型機械に対応した土地改良事業の推進が必要となります。現在、比木地区と朝比奈地区で水田の基盤整備事業を進めています。比木地区の進捗状況は約7%で、朝比奈地区は地元農業者の皆様と計画を策定中です。今後も基盤整備事業の円滑な推進のため、農業者との意見調整や手続などの支援に努めます。

問

若者のスポーツ施設の建設について、6月議会では非常に難しい状況との答弁でしたが、サーフィンでは世界大会が行われ、医療関係者の大会も企画されています。本市のロケーションとポテンシャルの高さは想像以上のものがあります。また、農海産物もあり、交流人口の増加を目指

問

消滅可能性自治体から脱却するための具体策として、再生可能エネルギーの積極的な推進について伺う

答

本市では令和7年度予算編成方針における重点施策として「将来にわたる持続可能なまちづくりの推進」を掲げ、全庁的に消滅可能性自治体からの脱却に向けた取組を推進していくことを考えています。再生可能エネルギーの導入促進は、これからの日本のエネルギー政策において非常に重要な取組と考えます。そのような中、公共施設の屋上や屋根に太陽光発電設備を設置することは非常に有効な手段であり、本市ではこれまで14の施設に設置し、電力の地産地消に取り組んでいます。「公共施設への屋根貸し事業」は、歳入増加策として有効な手段であると考え、公共施設マネジメントの動向、発電電力の最適な活用方法を総合的に勘案しながら調査研究をしていきたいと考えます。「砂電池を活用した産業の創出」は、約2

一般質問

- ・消滅可能性自治体から脱却するための具体策について
- ・リニア中央新幹線整備事業と大井川の水問題について



福田伸次

問

年前にフィンランドで世界初の運用が開始されたと認識しています。気候の違いもあり、日本での実用性、必要性については慎重な考察が求められると考えます。

答

水は私たちの暮らしにかかせないものですが、本市の上水道は自己水源が市内になく、大井川広域水道企業団と企業局西部事務所榛南出張所の2カ所から水を購入している状況です。また、本市は流域自治体の末端に位置しており、大井川で水資源の問題が発生すれば、農業や工業に携わる方に対しても多大な影響が生ずることになると認識しています。大井川の水は市民生活に影響を及ぼす恐れのある大変重要な問題であり、現在の水量や水質が恒久的に確保されることが何より大切であると考えます。流域市町が一体となり、水資源の確保及び水質の保全に取り組みます。